

防犯設備進化への期待

総合防犯設備士 第 05-0152 号
福岡県委嘱安全・安心まちづくりアドバイザー
NPO 法人福岡県防犯設備士協会防犯設備アドバイザー
NPO 法人福岡県防犯設備士協会理事
座親総合防犯設備士事務所 代表

座親 雅夫



わたくしが、総合防犯設備士試験に合格したのは平成18年2月、三回目のチャレンジでした。その当時、日防設の鈴木専務理事より『三回目なら合格するよ』と、冗談交じりに励まされました。専務理事のお言葉で三回目の試験を受ける気になれたことが思い出され、今でも感謝しております。面接官に『座親君は中の下ですがこれから頑張ってください』と、言われ合格を確信しました。(笑)

防犯設備業界への始まりは37歳の時でした。大学卒業後、野球の縁で二つの業界を経てのことでした。その当時、転職をするならセキュリティ業界だと何故か思い立ち、某大手警備保障会社の試験を受け、最終面接まで行きましたが、その時の支社長に『座親君あなたはうちには合わないだろう』と、何故か言われ結果不採用、別の準大手警備保障会社に採用が決まりましたが何故かそこを断りました。

その後に防犯設備販売会社の新規支社開設の営業募集が目にとまり面接を受け採用が決まりました。当然、販売会社ですので営業です。一週間ほど研修を受け直ぐに営業活動に入り防犯知識習得もそこそこ、新規飛び込み営業活動を行いました。1ヶ月目は1件の契約も取れませんでした。研修が良かったのか?不思議と見積だけは1日2件ほど取れたので、見込み客は増えて行きました。結果2ヶ月目からは月に3件~4件程度の契約を取り続け、その年の年末にはトップの成績を残しその後も継続して行きました。そんな折、防犯設備士試験の案内が目にとまり受験を試み無事合格することが出来ました。合格は良かったのですが、逆に防犯

設備業界のことを知れば知るほど重みを認識し、このままでは経験が足りないことを痛感、営業活動に於いても慎重な心構えへと変化して行きました。

※因みに当時は、今のように防犯カメラが主流ではなく侵入警報システムに特化して販売していました。

その後、カギ販売チェーン店よりセキュリティ事業展開準備スタッフの誘いを受け入社。カギに関する防犯知識習得の傍ら防犯硝子販売事業を任され防犯硝子及び硝子強化フィルム、また別の会社にて防犯インナーフェンスなどに関する防犯知識を習得することが出来ました。

物理的防御に関する知識習得により防犯講演に於いても内容に幅を持たせることに役立ちました。当時、WG委員を務めていた住宅系社団法人主催による防犯リフォームに関する講演を全国5箇所にて実施、講師を務めさせていただき自分自身における防犯講演の礎になっております。

現在は福岡へ戻り、県内各自治会向け、マンション管理員向けなどの防犯講演の依頼に対応。わたくし自身、地元に戻り地域の自治会長及び副区長を経験し地域に於けるコミュニケーションの必要性を強く感じております。

さて、物理的な防御の必要性を踏まえ、今後の防犯設備の進化に関する期待は大きく、特に通信手段の進化発達に伴い、今まで不可能だと諦めていたシステムが可能と成って来たことは嬉しい限りです。

電源の確保さえ出来れば、どんな場所であれ防犯設備を設置し可能な通信手段を利用して遠隔にて制御及びモニタリングは可能な時代となりました。

その中でも映像レベルの進化は今後の可能性を大いに秘めた分野であり将来センサの分野においてもその役割を担うアイテムとなるはずです。

わたくしは今年4月に今までの経験を活かし、個人事務所を立上げ今後も活動を継続して参ります。そんな中で今回の独立を決意するきっかけとなった一つの要因に、通信手段の発達により防犯設備の進化の可能性を直感したからだと思っています。



光回線設置工事



太陽光発電所（野立）侵入警報システム